

【一般社団法人 日本舞台医学会 第1回理事会議事録】

開催日時：2023年12月25日（月）19：00から20：00

開催方法：ZOOM（WEB会議）

出席者（五十音順、敬称略）

代表理事 田中康仁（奈良県立医科大学）

理事 山本謙吾（東京医科大学）

射場浩介（札幌医科大学）

寺本篤史（札幌医科大学）

小川宗宏（奈良県立医科大学）

川崎佐智子（奈良県立医科大学）

宍戸孝明（東京医科大学）

立岩俊之（東京医科大学）

監事 竹下克志（自治医科大学）

武藤芳照（東京健康リハビリテーション総合研究所）

一. 議長選任の経過

定刻19時に田中康仁代表理事よりWEB開催となることが報告され、本日の理事会は定款29条に基づき、理事総数の過半数の出席を得て成立したことを確認した。

続いて定款第31条に基づき田中康仁代表理事が議長に選任された。

議長より挨拶の後、定款第33条に基づき、出席した代表理事及び監事を議事録署名人に指名した。

報告事項

1. 一般社団法人日本舞台医学会設立について

- ・田中代表理事より設立の経緯について報告された。

2. 第10回日本舞台医学会学術集会進捗状況について

- ・寺本会長よりプログラム案などについて報告された。

演題募集：12月1日（金）より2月2日（金）まで

6月15日（金）学会開催前日に理事会（必要であれば）、夜に懇親会（会長招宴）を札幌プリンスホテルにて開催予定。学術集会は札幌医科大学の講堂で開催予定。7 シンポジウムなどの依頼はすでに進めており、18時までには終了予定。

学会チラシはホームページに掲載済、また全国大学に発送済である。

武藤監事より会員確認について提案があった。会員に関しては審議事項2に記載。

3. 第11回日本舞台医学会学術集会進捗状況について

- ・小川会長より準備状況について報告された。

2025年3月8日（土）奈良の春日野国際フォーラムを予約しており、多職種、舞台医学の

未来を拓くような学会になるよう、テーマは「舞台医学の未来を拓く」。

4. 医療支援活動（新国立劇場）の報告

- ・武藤監事より資料1-5に沿って報告された。

資料1 新国立劇場バレエ団名古屋公演報告書

日赤医療センター名古屋第二病院の佐藤院長、渡会副院長、中内看護部長、小林整形部長、他3名と3度打ち合わせを行い、11/3.4.本番、前4日間対応できるようにした。
佐藤院長、小林先生のご意向、理事の承認を得られれば代議員をお願いしたい。

資料2 新国立劇場バレエ団 東京・全国公演日程

資料3 舞台医学セミナー開催一覧

年に3-4回開催し、ダンサーらの健康管理についての意識を高める、知識情報を身に付け予防を図ることを目的とする。舞台医学会としてもご協力をお願いしたい。

資料4 バレエに伴う外傷（ケガ）の症例票

資料5 東京医大と新国立劇場との包括連携協定締結式

山本理事より11/30（木）に締結されたことを報告。今後は社会貢献の一環として東京医科大学として全科で協力する。

今後色々なデータが揃ったら統計をとって学会で発表してほしいとの要望があった。

5. 『舞台医学実践入門』の進捗状況の報告

- ・『舞台医学実践入門』については新興医学出版社から発刊。執筆〆切は1/15（月）。

6. その他

- ・武藤監事より学会設立に絡めた新聞記事掲載予定についての報告があった。

（1/16, 東京新聞、中日新聞、北陸中日新聞）

新聞記事の2次使用について学会として申請し、HPに掲載、広報に使えるようにしたいという要望あり。

審議事項

1. 理事長の承認

- ・田中康仁理事が代表理事として承認された。

2. 代議員の選出、推薦について

- ・会員、会費、会員種別についての審議が行われ下記で決定した。

正会員：会費5,000円（医師、歯科医師）。

準会員：会費3,000円（医師以外現役ダンサー、ミュージシャン、役者、柔道整復師など）。

臨時会員：会費 3,000 円（会員登録は希望しない発表する方、学生など）。

ただし、入会の際には代議員 1 名の推薦が必要とすることで決定した。

- ・現在、第 11 条 3 項に代議員は正会員の中から選任するという条文があるので、正会員および準会員の中から代議員は選出すると条文を修正することを確認した。
- ・小川理事より日本舞台医学会の HP が 1 月上旬には完成予定と報告があった。
1 月オープン予定のホームページに規則や手続きを開示し、会員募集をすることとした。
会員の取り扱いに関しては多職種を受け入れることによって学会の認知度の高まり、会員増加が見込めることを確認した。
- ・田中代表理事より推薦された代議員の候補者について説明された（参考資料リストあり）。
まだ内諾をいただけていないようならば早急に内諾をいただくよう進めることを確認した。

3. 今後の学会運営について

- ・田中代表理事より会員の種別、医師以外の人などについてはホームページをアップする際に確定することで確認した。

4. 学会の「監修」についての議決（印税比率等）

- ・武藤監事より『舞台医学実践入門』の印税に関して 10%印税の中 1/2 は監修費用として学会に入れ運営に使用、1/2 は労務に応じて配分するのはどうかという提案があり、理事会として可決された。

5. 第 98 回日本整形外科学会（2025 年 5 月、東京）でのシンポジウムの企画について

- ・武藤監事より日本舞台医学会と運動器の健康・日本協会の両者の合同シンポジウム企画を日整会事務局に提案する予定であることが説明された（〆切 1/12（金）前後）。
田中代表理事のもと寺本理事、小川理事の意見を入れながら舞台医学実践入門の目次構成執筆を中心に組み立て、年内に草案作成、理事会のメンバーで回覧し、運動器の健康・日本協会の業務執行理事会で提案、両社企画という形で承認を得られれば、日整会に提出予定で進めることを確認した。

6. その他

- ・学会誌の投稿規定に関しては他の学会誌の規定を踏まえて小川理事、川崎理事にご草案作成を依頼した。その後、理事会で回覧することを確認した。
- ・来年の学会の抄録集は PDF で作る予定なので学会誌の第一号は抄録集、第二号は論文集、年一回発行という形で進めていく方向で確認した。
投稿論文に関しては代議員に査読委員をお願いすることで決定した。

- ・大学院、卒論などに使われるよう幅広く広報活動を進めるために全国の芸術大学数など調査する必要があるため、小川理事に調査を依頼した。
- ・運動器の健康・日本協会への登録について今後は事務局担当として東京医科大学が対応する。
- ・武藤監事より理事会での決定事項は社員総会での詩集決済が必要につき、社員総会を開催する必要があることが説明された。定款上は代議員も理事会で推薦され、社員総会の承認をもって選任となるため、追加の代議員候補者を挙げてもらい、理事会で推薦を取り、1月に社員総会を開いて承認決定することとした。
- ・ホームページオープン時に理事メンバー一覧表、代議員一覧を掲載することとする。
- ・ホームページオープン前に社員総会を田中代表理事から招集することを確認し閉会。

代表理事 田中康仁 ㊟

田中康仁

監事 竹下克志 ㊟

竹下克志

監事 武藤芳照 ㊟

武藤芳照 ㊟